

牧之原市立榛原中学校における 新型コロナウイルス感染症対策の概要



【生徒・保護者版】

2020. 5. 20

1 はじめに

学校再開が段階的に行われることになりました。榛原中学校の職員はこの日を待ちわびていました。ようやく迎えた学校再開ではありますが、決して新型コロナウイルスが収束したわけではありませんので、当面の間は感染リスクにできる限り配慮した学校生活を送っていかなくてはなりません。学校に登校しても、今までより制限のある生活をお互いに意識しなくてはなりませんし、ご自宅に返ってからも、不要不急の外出は控え、友達と自由に遊ぶことは今しばらく我慢した生活を過ごすよう引き続き御協力ください。

榛原中学校の職員は榛中生が感染リスクを意識した学校生活を送れるために、どうしたら良いのかを全員で意見を出し合い、協議を繰り返す中で、ここに示した榛中新しい生活様式を策定しました。今後しばらくの間は、本概要を基に指導させていただきます。ただし、今後状況が変わり、新たな対応に変更せざるを得ないことも想定されます。その際には、改めて保護者の皆様へもメールや通知等でお知らせしますのでよろしくお願いします。

今後、段階的な学校再開が順調に進み、なるべく早く通常とおりの生活が送れるようになることを願いますが、状況によって最悪の場合は、再度の臨時休業となることも予想されます。そうなった場合は3年生を中心にした学習の対応を計画したり、ICTを活用した学習を計画したりしたいと考えております。このことを踏まえて、各御家庭でのインターネットやICT機器環境について早急に調査させていただきますので御協力ください。

非常に厳しい状況が続きますが、保護者の皆様の御協力を得ながら、この危機を乗り越えていけるよう学校も職員が一丸となって取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。

榛原中学校長 大石友巳



2 生徒用リーフレット(分散登校日の放送による保健指導で使用したもの)

新型コロナウイルス感染症対策

榛中での生活について

保健室より

家庭では

- 体温を測定し、榛中ノートに記入します。
- 発熱、咳、だるさ等体調が悪い時は登校しません。
- 自分や家族がPCR検査を受けた時は、家の人から学校に連絡してもらいます。

【健康管理】 について



学校では

- 家庭での体温測定を忘れた場合は登校後すぐに測定します。
- 体調が悪くなった場合は、すぐに先生に言い、早退します。

【感染予防】について

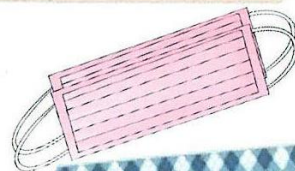


手洗いの徹底

石けんを使い、ていねいに手を洗うことで、十分にウイルスを除去できます。手洗いが習慣になることでウイルスの侵入を防ぐ確率が上がります。

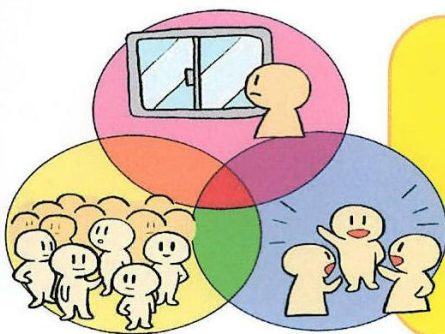
アルコール消毒

登校後、移動教室後、給食前はていねいな手洗いの後にアルコールによる消毒をします。給食前については、絶対に忘れないようにしましょう。



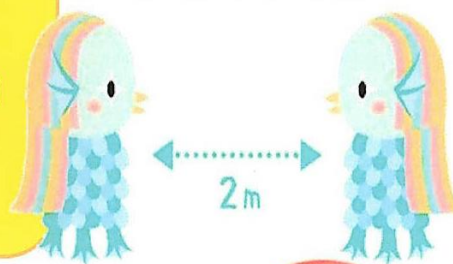
マスクの着用

校内では必ずマスクを着けて生活します。ただし、慣れないマスクの着用で熱中症の心配があるため、水分を多めに取れるように準備しましょう。



【3密（密閉・密集・密接）】 を避けて 【ソーシャルディスタンス】 を意識した生活 について

social distance



- 対面での会話はできるだけ控えます。
- 昇降口、廊下、トイレ、水道等で**密集・密接にならないよう工夫しながら**生活します。
- 体育や部活動などで、先生からマスクを外した活動の指示があった場合は、**ソーシャルディスタンスを意識した行動**をします。

榛中での生活が、しばらくの間大きく変わります。イライラしたり、不安になったりいろいろなことがあると思います。榛中生一人一人が「他を思いやる」気持ちで生活することで困難を乗り越えていきましょう。

3 生徒にむけたメッセージ(分散登校日の放送によるロード集会にて)

今日、みなさんは、久しぶりに登校をし、新しいスタートを切ろうとしています。新型コロナウイルスがこれからどのような状況になっていくか、第2波がいつくるのかもわかりません。普段より自分のこと、周りの人のこと、みんなでちょっとずつ気を使いながら、生活するようになります。不便さを感じることもあるでしょう。いまは気づきにくいかもしれませんが、だんだんと生活に慣れ、例えば、おしゃべりしている時に「あ、ここ密になっているから、密になりそうだから、場所をゆずろう、場所を移動しよう」とか、例えば、理科室やグラウンドから教室に戻る時に、「換気のためにほかの教室のドアが開いているから静かに戻ろう」とか、ちょっとした気配りができるようになることも大切な成長です。成長とは変化することです。

変わらないこともあります。それは、1日は24時間で、1年はだいたい365日、そして、それは僕もあなたも安倍首相も同じ、平等であるということです。だからこそ、今を大切に、今を一生懸命生きてください。とにかく、なんでも一生懸命やることです。

休校の期間、先生方は、君たちが登校することを心待ちにしていました。教室の壁、ロッカー、廊下、グラウンド、一生懸命きれいにしました。行事や定着度調査の時期、1学期の延長、いろいろ変更をしなければならなかったけれど、君たちが学校生活の中で成長する場面を作りたいと一生懸命考えました。

君たちには、これから起こるであろう、いろいろな変化を受け入れ、そして、変化を起こし、一生懸命生きてほしいなと思います。ぶっつけ本番の一度しかない人生です。それが、将来の夢につながる「ロード」であり、学年末にちょっと成長した自分の姿になっていると思います。その成長を楽しみにしています。



4 作成にあたってよりどころとしたもの

- 文部科学省事務連絡『新型コロナウイルス感染症に対応した小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における教育活動の再開等に関するQ&Aの送付について(5月13日時点)』(以下『教育活動の再開等に関するQ&A』)
- 文部科学省初第265号『新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」の方向性等について(通知)』(以下『「学びの保障」の方向性』)

5 学校生活における感染防止のための取組

- 手洗いを徹底する。
- 必ずマスクを着用する。
- 3密(密閉・密集・密接)を避ける。



(1) 生徒の健康管理について

- ① 普段より体温が高かったり、体調がすぐれなかったりする場合は、自宅で休養します。
- ② 学校では、登校したら、榛中ノートで検温確認をします。家庭での検温を忘れた生徒については、すぐに検温させます。
 - ➔ 体温が高い、体調がすぐれない生徒については、いったん会議室にて待機させます。

- ➔ 登校によって、体温が高くなっていることも考えられるため、再度、検温をして、それでも体温が高かったり、体調がすぐれなかったりした場合、保護者に連絡のうえ、早退させます。
- ➔ 早退する場合は、学校より連絡をします。下校時の安全を考え、保護者の迎えを基本とします。生徒はその間、会議室で待機をします。学校に来られましたら、事務室に声をかけください。
- ➔ 当面は、感染リスクを抑えるために「保健室で1時間ようすをみて、がんばれそうなら教室へ」という措置は取りませんので、御了承ください。



- ③ 登下校も含め、学校生活ではマスクを着用します。また、教職員は積極的に呼びかけをします。
- ➔ マスクを忘れた生徒には、マスクを渡します。本校同窓会長様よりマスクの寄付をいただきましたし、一時期ほど、マスクが手に入らないわけではありません。しかし、学校にあるマスクには限りがあります。予備を含めてカバンに入れておくなど、御家庭でできる準備をお願いします。
 - ➔ 感染リスクを抑えるために、使用したマスク、使えなくなったマスクについては、各自持ち帰りをし、自宅で処分します。使用済みマスク用のビニール袋を用意するなどの御協力をお願いします。
 - ➔ 保健体育の授業や部活動では、熱中症リスクを軽減することをの方を優先し、マスクをはずすこともあります。そのようなときは、三密状態にならないように、一定の距離を保つ、換気をするなどの対策を施します。
- ④ 登校後の健康観察を丁寧に実施して、体調不良だけでなく、こころの面についてもサポートします。
- ➔ コロナ禍によって、普段以上に不安やストレスを感じていることも考えられます。御家庭では、検温をとおして、お子さまとコミュニケーションをとり、様子をみてください。何か気づいたことがあれば、学校にお知らせください。
 - ➔ 学校でも気になる様子が見られた場合は、御家庭に連絡をさせていただきます。
 - ➔ おもに火曜日がスクールカウンセラーの勤務日となっております。カウンセリングを希望される方は、担当(生徒指導主事)まで御連絡ください。

- ⑤ 手洗いをこまめにさせます。
- ➔ 特に、清掃後、移動教室後、トイレ後、給食配膳前など、手洗いを積極的に呼びかけます。
 - ➔ 手を拭くタオルやハンカチ、ティッシュ等は共有しないよう指導しますので、清潔なものを毎日、持参させてください。
 - ➔ 教室入り口付近には、消毒液が常時、設置してあります。



(2) 消毒について

- ① 特に多くの生徒が手を触れる箇所については、毎日の放課後、教職員が消毒します。(各教室の机、いすの背もたれ、出入り口のドアノブ、掃除用具入れのドアノブ、電灯のスイッチ、ロッカーのエッジ、窓のクレセント及び手すり、消毒液の手で押す部分、水道のひねる部分、階段の手すり、トイレのドアノブ、レバーハンドル等)
- ② 給食配膳前に、必ず消毒液で配膳台とお盆を消毒します。

- ③ 部活動で道具を使用する場合は、部活動が始まる前に消毒をする時間を設けたり、部活動終了時刻を前倒ししたりします。「消毒も含めて準備・片付け」といった新しい生活様式に合わせた準備・片づけをします。

(3) 教室環境について

- ① 座席間隔が確保できるテスト隊形を基本とします。
- ② 気候上可能な限り常時可能であれば、2方向の窓を同時に開放して換気を良くすることを徹底します。
- ➔ エアコンを使用する場合でも、可能な限り上窓を開け換気をします。
 - ➔ 休み時間には必ず空気の入れ換えをします。温度管理は、冷房を27度(自動)に設定し、移動教室が1時間程度の時や休み時間も空調を入れたままにします。これによって、暑い教室外から教室に戻ってきたときに、マスクをより着用しやすい環境を整えます。(毎稼働時の電力消費量を押さえることにもつながります。)
- ③ 体育館、武道場等でもドアや窓を開放し、換気を心がけます。



(4) 給食の指導について

10分配膳・残食0よりも、感染対策&安全に配慮した配膳を優先します

- ① 座席間隔が確保できるテスト隊形で全員が前を向いて食べます。
- ② 給食配膳前に全員が手洗いを必ず行います。
- ➔ この時、水道前が密状態にならないよう、時差をつくったり、使用する水道を割り振ったりするなどの配慮をします。
- ③ 毎回、お盆と配膳台の消毒を行います。また、お盆の上にはランチマットを必ずひきます。
- ➔ 消毒は、教室の後ろで行い、消毒液が教室内に飛び散らないように、また、配膳を終えた生徒の机にある給食に入らないように配慮して行います。
(※飛散した消毒液が給食にかかったとしても健康被害はありません。)
 - ➔ おぼんにひくランチマットを忘れた場合は、給食終了後、必ず洗浄・消毒をさせます。ランチマットを忘れないよう、御家庭でも確認したり、予備をカバンに入れておいたりするなどの御協力をお願いします。
- ④ 給食配膳について
- ➔ 給食配膳係は白衣を着用し、ビニール手袋を付けます。
 - ➔ バイキング形式により、自分の給食は自分で用意します。一列に並ぶ際は、ソーシャルディスタンスをとるよう指導します。
 - ➔ 配膳係の給食を係が準備するときは、必ずビニール手袋を着用します。



- ⑤ 給食中はマスクを外すため、なるべく話をしないで前を向いて食べます。
- ➔ 感染リスクを抑えるため、給食を減らす・仲間に給食をあげる行為はしません。
 - ➔ 配膳された給食をすべて食べる努力をしたうえで、食べきれないものは食器などを片付けるときに食缶やバットに自分の箸で返します。
 - ➔ 欠席者や配膳しきれなかった分の給食については、おかわりをしても構いませんが、その場合、ビニール手袋を使うなど、感染対策を施します。
- ⑥ 食器の片付けの際は、密状態にならないよう行動します。
- ➔ 給食の日課については、安全に配慮すると配膳時間に差が生まれるため、終了時刻を学年でそろえます。学年で決められた時間になったら「ごちそうさまでした」のあいさつをします。
 - ➔ 給食終了時刻を周知し、それまでは御用聞きなど他学年の階に行かないなどの他学年に配慮をした行動をうながす指導します。
 - ➔ 食器や牛乳を片付ける役割の生徒はビニール手袋を付けて片付けます。
 - ➔ 食器や食缶などの運搬後、配膳台を消毒します。
 - ➔ 給食委員も、密状態にならないよう人数等の配慮をし、ワゴンの移動作業や配膳室の片付けを行います。

※ 実際に給食指導がなされる中で、随時、より安全な方法を模索します。そして、安全を優先しながらもより効率的な方法を検討してまいります。

(5) 教育活動について

『教育活動の再開等に関するQ&A』より(抜粋)

各教科等の指導について、感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高いため、実施することができない学習活動についてはどのようなものがあるか。

- 各教科等の指導について、以下に掲げるものなど感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い学習活動については、当分の間、これを行わないようにしてください。
- ・ 音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動
 - ・ 家庭科、技術・家庭科における調理等の実習
 - ・ 体育科、保健体育科における児童生徒が密集する運動や児童生徒が近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動
 - ・ 児童生徒が密集して長時間活動するグループ学習
 - ・ 運動会や文化祭、学習発表会、修学旅行など児童生徒が密集して長時間活動する学校行事

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が継続していない地域における学校においても、感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い学習指導は実施できないのか。

- **新型コロナウイルス感染症の感染拡大が継続していない地域においては、当該地域の感染状況を踏まえた適切な感染症対策を講じた上で、学習指導を行っていただきたいと思います。**その際、「感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い学習活動の例」において示した**飛沫が飛ぶことを防ぐ、長時間の密集状態を避けるなど**の観点について、必要な範囲で参考にしていただきつつ、**各種の学習活動を行っていただくことを妨げるものではありません。**
- なお、学校再開ガイドラインに示す感染症対策を十分講じた上で、各教科等に共通する感染症対策として、
- ・ 共用の教材、教具、情報機器などを適切に消毒する

- ・ 共用の教材、教具、情報機器などを触る前後で手洗い・除菌行為を徹底するなどにも併せて取り組んでいただきたいと思います。

① 人権教育について

コロナウイルス感染症の拡大とともに、症状や感染に対する不安と恐れだけでなく、感染拡大から生まれる嫌悪、偏見、差別が生まれやすい社会状況になっています。

榛原中学校では、教育活動全体をとおして、生徒の道徳性を養っていくために以下のような手立てをとってまいります。

- ➔ 『特別の教科 道徳』において、「相互理解、寛容」、「生命の尊さ」など、人権に関連する内容項目を指導する際に適切に扱います。
- ➔ 昼の放送時に、図書司書が人権をテーマとする内容の本を読み聞かせることをとおして、気づきをうながしていきます。
- ➔ 学級活動の時間や部活動では、日常生活が当たり前のように送れる喜びや仲間とともに好きなことに取り組める喜びを再確認させたりするなど、生徒ともに気づき、考える時間を大切にしていきます。

② 教科指導について

榛原中学校では、「仲間との対話を通して、課題を粘り強く解決しようとする」授業をめざしています。そのため、グループ活動やペア活動など、協働的な学びをとおして、気づき、考え、まとめることが大切だと考えております。よって、座席間隔が確保できるテスト隊形を基本とし、以下のような工夫をして、授業に取り組んでまいります。

- ➔ こまめに換気をする、飛沫を飛ばさないよう咳エチケットの要領でマスクを装着する指導をする。
- ➔ グループ活動を行うときには、体の向きだけを変えるのではなく、マスクを着用したうえで、机ごとを向かい合わせて、一定程度の距離を確保する。
- ➔ ホワイトボードを使用するときには、役割分担をし、頭と頭が近づかないように配慮する。また、使用後は、適切に消毒をする。
- ➔ 黒板の前に立って、説明するのではなく、レーザーポインタを使用し、少し離れた場所から説明をする。

など、感染症拡大防止に最大限配慮しながら指導する方法を模索してまいります。なお、水泳指導につきましては、市教育委員会の指導により本年度は実施しません。



③ 授業時数の確保について

- ➔ 長期休業日を短縮して、授業日を確保します。
- ➔ 授業時間確保のために、今後、月曜日と水曜日の6時間目に授業を行うこともあります。
- ➔ 木曜日と金曜日の朝の時間を利用して、20分間のモジュール学習を50回行います。実施する教科は、国語、社会、数学、理科、英語の5教科です。

④ その他の教育活動について

- ➔ 式・集会などでは、学級単位以上に集めることは、当面行いません。資料を用意するなどの工夫をし、放送で行います。
- ➔ 登下校における昇降口の密集を避けるために、各学年の級外職員が昇降口で速やかに移動するよう指導していきます。また、下校時間については、学年ごとき差をつけるなどの

配慮をします。

- ➔ 休み時間は、廊下やトイレなどが密状態にならないよう、教室(特別教室)で過ごすことを基本とします。
- ➔ 図書室については、イスの個数を減らした上で開放します。また、手洗い・消毒をしてから図書室に入るなどの指導を徹底します。

6 保護者にお願いしたいこと

- (1) 家庭学習の時間と就寝時刻、起床時刻や朝食をとるなど、御家庭での生活リズムを整え、免疫力を高めてください。



- (2) 登校する前に検温をする習慣を身につけさせてください。また、榛中ノートへの記入をお願いします。

- ☞ 普段より体温が高かったり、体調がすぐれなかったりした場合は、自宅で休養してください。その場合は、「欠席日数」とならず、「出席停止の日数」となります。
- ☞ 御家族に調子のすぐれない方がおり、そのために、本人を念のため自宅で待機させる場合も同様に「欠席日数」とならず、「出席停止の日数」となります。

- (3) 学校では、マスクを着用する指導をいたします。手に入りにくい状況ではございますが、マスクの用意をお願いします。また、手を拭くためのタオルやハンカチ、給食時に使用するランチマットについても、毎日、持たせてください。また、熱中症対策のための水筒も持たせてください。

- ☞ 手作りマスクの作り方 <https://www.city.makinohara.shizuoka.jp/soshiki/17/30030.html>

- (4) 忘れ物を届けるなどで来校する場合、保護者の皆様もマスクを着用するようお願いいたします。なお、事務室前玄関に消毒液を準備してありますので、お使いください。

- (5) 学校では、帰宅後の不要不急な外出はできる限り控えるよう指導をしておりますので、御協力よろしくお願いします。

<生徒本人あるいは家族が、PCR検査を受けることになった場合>

- 保護者より学校に連絡をください。
- 結果が出るまでは登校させず、自宅で休養してください。この場合も「欠席日数」とならず、「出席停止の日数」となります。
 - ☞ 陰性反応であれば、登校させてください。
 - ☞ 陽性反応となった場合、学校は教育委員会や保健所の指示に従って対応します。

公務員は、地方公務員法34条により「職務上知り得た秘密を漏らしてはならない(守秘義務)」と定められています。生徒・御家族がPCR検査を受けたことを、学校から外部に公表することはありません。

7 おわりに

令和2年度が、4月6日の新任式・始業式で幕を開けました。3月から臨時休校が続き、約1ヶ月ぶりの登校でしたが、2年生、3年とも年度の始まりにふさわしく、入退場も整然として行われ一人一人が凜とした表情で式が行われました。また翌日7日に、入学式が挙行されました。美しい春の花々に囲まれ緊張感の中、整然と式が行われました。しかし、その2日後からコロナウイルス感染防止のため学校が臨時休校となってしまいました。23日間の臨時休校につきましては、生徒は外出を控え、自宅での学習となり不自由でストレスがたまる時間を過ごしたことと思います。また、保護者の皆様におかれましては、臨時休校期間中、学校から配信されたメールへの対応につきまして、御理解と御協力をいただきまして感謝申し上げます。

榛原中学校では、5月18 日からの段階的な学校再開において、「榛原中学校における新型コロナウイルス感染症対策の概要」にまとめられた「新しい生活様式」に基づき学校生活上の工夫を行っています。引き続き保護者の皆様にも榛原中学校の教育活動に御理解と御協力いただきながら、生徒の学校生活を安全・安心なものにしてまいりますので、よろしくお願いします。

榛原中学校教頭 小澤慶晃



第50回入学式の様子



分散登校の様子



授業再開に向けて自主研修会を開く若手職員



臨時休校を利用した教室整備